

吉備路の歴史

こうもり塚古墳とその周辺

遺産



表紙・裏表紙：こうもり塚古墳と備中国分寺跡

はじめに

総社市東部から岡山市西部の一帯には、墳長が全国第4位の造山古墳、第10位の作山古墳、県内最大の横穴式石室をもつこうもり塚古墳、奈良時代に建てられた備中国分寺・国分尼寺跡などの歴史遺産がまとまって所在することから、昭和47(1972)年に「吉備路風土記の丘」として県立自然公園に指定されました。松林に残る巨大な石室や苔むした礎石、緑陰を背に建つ五重塔などをたどれば、吉備が歩んだ歴史を体感することができます。

このガイドブックでは、こうもり塚古墳をはじめとする歴史遺産や、吉備路に関わるガイダンス施設をご案内します。



© 岡山県「ももっち」

年表

西暦 AD	400	造山古墳 つくりやま	古墳時代中期(巨大前方後円墳が多くつくられる時代)
	450	千足古墳 せんそく 作山古墳 つくりやま	
	500	宿寺山古墳 しゅくでらやま	
	550	大王墓に横穴式石室が 用いられるようになる みどりやま 緑山古墳群が つくられはじめる	古墳時代後期 (横穴式石室が多くつくられる時代)
	600	● 鷲尾塚古墳 とびおつか	
	645	大化の改新 かやでら 栢寺廃寺 きよのじょう 鬼ノ城がつくられる	飛鳥・白鳳時代
	710	平城京に都が移される	
	741	備中国分寺・備中国分尼寺 がつくられはじめる	奈良時代

1 「キビノミチ」と山陽道



古代山陽道の道筋

7世紀末に吉備から割かれた三国は、備前国、備中国、備後国と書いてキビノミチノサキノクニ、キビノミチノナカノクニ、キビノミチノシリノクニと読ませています。古代の山陽道沿いには、備前の両宮山古墳・牟佐大塚古墳、備中の造山古墳・作山古墳・宿寺山古墳・こうもり塚古墳といった有力な古墳があることから、それ以前からあったキビノミチを利用して整備されたとも考えられます。

この古代山陽道は、近畿地方に置かれた京と対外交流の窓口であった九州大宰府を結ぶ交通路として、七道の中でも特に重視されました。ここを往来する貴族や役人に馬や食事・宿を提供するため約16kmごとに置かれた駅は、外国使節が通行することもあるか、白壁、瓦葺の外観に整えられます。また、「国の華」と例えられた国分寺・国分尼寺も、この沿道を選んで建立されました。

しかし、律令制が衰えると幅6～9mもある大路を維持することは難しくなり、中世には山沿いの集落を結ぶ南寄りの道筋へと移りました。近世の山陽道沿いには、今も古い町並みや道標を見ることができます。

2 吉備路の^{きよせきふん}巨石墳

^{つか}こうもり塚古墳（国指定史跡）

^{かんばやし}総社市上林



空から見たこうもり塚古墳

こうもり塚古墳は6世紀後半につくられた^{ぜんぽうこうえんふん}前方後円墳です。この時期の前方後円墳としては中四国地方で最大級の大きさを誇ります。

後円部には、^{まいぞう}埋葬のための全長19.4mの^{よこあなしきせきしつ}横穴式石室という石組みの部屋があります

（トピック②参照）。この石室は県内最大で、^{きない}畿内（奈良県など）の^{だいおうぼ}大王墓の石室に匹敵します。石室には、井原市付近で産出する^{なみがたいし}浪形石と呼ばれる石材を^{くぬ}削り抜いてつくられた^{いえがたせっかん}家形石棺（^{ふた}蓋が屋根形の石棺）が置かれています（トピック③参照）。

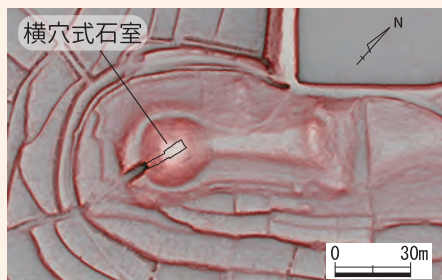
古墳データ

前方後円墳

墳長 約100m

後円部径 約60m

高さ 8m



赤色立体地図によるこうもり塚古墳
（トピック①参照）



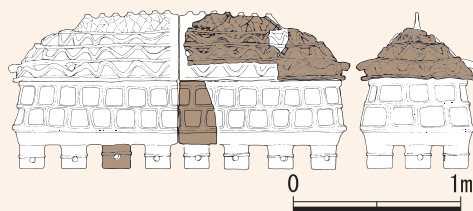
(通常は玄室を施錠しています)

こうもり塚古墳の石室と石棺

石室には、石棺のほかに^{とうかん}陶棺(焼き物の棺)が納められていました。副葬品では、大刀や鉄鏃(やじり)といった武器や馬具(轡や鞍など乗馬に使う道具や飾り)、玉類、須恵器や土師器などの土器が知られています。中でも環頭大刀は、中央政権と関わりの深かった有力者に与えられたもので、この古墳の性格を考える上で重要です。



こうもり塚古墳の環頭大刀の柄頭



こうもり塚古墳の陶棺復元図(白抜きは復元)
(『総社市史 考古資料編』総社市史編さん委員会編 1987)

トピック① 一赤色立体地図とは一

^{せきしよくりったい ち ず}赤色立体地図とは、地形を人の目で判別しやすい赤色で立体的に表現した地図です。急な傾斜ほど赤く、平坦な地形は白く表示することで細かな地形の凹凸を表現することができます。

3 巨大古墳の時代

5世紀前半～中頃の吉備路には、造山古墳や作山古墳といった畿内^{きない}の大王墓^{だいおうぼ}に匹敵する巨大な前方後円墳^{ぜんぽうこうえんふん}がつくられました。

しかし、5世紀後半の宿寺山古墳^{しゅくてらやま}を最後に、全長100 mを超えるような大型前方後円墳はしばらくつくられなくなります。

墳長	古墳の名称	所在地
486m	大山古墳（仁徳天皇陵古墳） だいせん にんとくてんのうりょう	大阪府堺市
425m	譽田御廟山古墳（応神天皇陵古墳） こんだごびょうやま おうじんてんのうりょう	大阪府羽曳野市
365m	上石津ミサンザイ古墳（履中天皇陵古墳） かみいしづ みちゅうてんのうりょう	大阪府堺市
350m	造山古墳	岡山県岡山市
335m	河内大塚山古墳 かわちおおつかやま	大阪府松原市・羽曳野市
310m	五条野丸山古墳 ごじょうのまるやま	奈良県橿原市
300m	渋谷向山古墳 しぶたにむかいやま	奈良県天理市
290m	土師ニサンザイ古墳 はぜ	大阪府堺市
290m	仲津山古墳 なかつやま	大阪府藤井寺市
282m	作山古墳	岡山県総社市

百舌鳥古墳群

古市古墳群

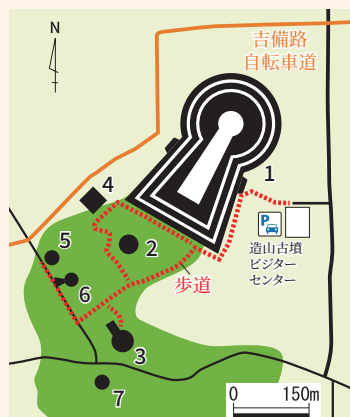
つくりやま

造山古墳とその周辺の古墳（国指定史跡）

岡山市北区新庄下^{しんじょうしも}

造山古墳は5世紀前半に築かれた巨大な前方後円墳で、墳長約350 mという規模は大王墓（天皇陵古墳）を除いて国内最大となります。三段につくられた墳丘は、斜面を葺石^{ふきいし}で覆い、各段に埴輪^{はにわ}を飾っています。埋葬施設は分かっていますが、前方部に九州の凝灰岩^{きょうかいがん}でつくられた石棺が残っています。

造山古墳周辺には、これに従うように築かれた6基の古墳（陪塚^{ばいちよう}）があります。墳長81 mの千足古墳^{せんそく}は前方部が短い帆立貝形^{はたてがいがた}をしていて、後円部には県内最古の横穴式石室^{よこあなしきせきしつ}が二つ設けられています。このうち明治時代に発掘された石室には、直弧文^{ちよっこもん}という特殊な文様を刻んでおり、九州の横穴式石室と似ています。



造山古墳周辺の古墳

- 1 造山古墳 2 榊山古墳 3 千足古墳
- 4 造山第2号古墳 5 造山第3号古墳
- 6 造山第4号古墳 7 造山第6号古墳



空から見た造山古墳とその周辺の古墳

さかきやま
榊山古墳は、径 35 m の円墳または帆立貝形の古墳と想定されています。銅鏡とともに中国・朝鮮半島に類例のある飾り金具が見つかっていて、対外交流に深い関わりがあったのかもしれません。

このように造山古墳は、近畿の大王墓に匹敵する吉備の^{だいしゅちょうぼ}大首長墓であり、その周辺の古墳に葬られたのは大首長を支えた人々と考えられます。

造山古墳	
前方後円墳	
墳長	約350m
後円部径	約200m
高さ	29m

榊山古墳	千足古墳
円墳（現況）	帆立貝形古墳
径 35m	墳長 81m
高さ 6.5m	高さ 7m以上

岡山市教育委員会提供



榊山古墳の出土品
 （原品は宮内庁書陵部所蔵）



岡山市教育委員会提供

千足古墳の石室



空から見た作山古墳

松林に覆われた墳長約 280 m の巨大な前方後円墳で、県内では造山古墳に次ぐ大きさです。丘陵を利用して築いたためか後円部がいびつで、前方部の前面が張り出しています。また、三段につくられた墳丘には、埴輪がめぐらされています。その特徴から造山古墳に続く 5 世紀中頃に築かれたものと思われます。

古墳データ

前方後円墳

墳長 282m

後円部径 160m

高さ 24m



作山古墳周辺の古墳

作山古墳の南約 500 m にある一辺約 40 m の方墳で、吉備路周辺の方墳では一辺 44 m の折敷山古墳に次ぐ規模です。

古墳データ

方墳

一辺 約40m

高さ 6m



角力取山古墳

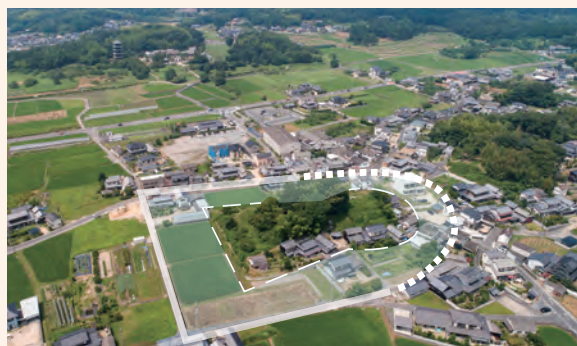
埴輪のつくりから、宿寺山古墳と同じ 5 世紀後半の築造と推定されています。

備中国分寺跡の南約400 mにある墳長約110 mの前方後円墳です。埴輪を飾る墳丘は二段につくられているようですが、大きく壊されていてよく分かりません。

周囲に残る盾形をした濠のあとは全長約170 mあり、県内では同時期の両宮山古墳（濠の全長349 m）に次ぐ大きさです。

明治から大正時代に、後円部と前方部にあった堅穴式石室から銅鏡や鉄製の武器・武具、金製簪を含む装身具などが掘り出されました。これらの副葬品から、宿寺山古墳は作山古墳に続く5世紀後半に築造されたものと思われます。

なお、この近くにある寺山1号墳・2号墳（車塚古墳）は、宿寺山古墳の陪塚と考えられています。



空から見た宿寺山古墳（線は古墳の範囲）

古墳データ

前方後円墳

墳長 約110m
（全長 約170m）

高さ 約10m



宿寺山古墳の周辺



赤色立体地図による宿寺山古墳

4 こうもり塚古墳とその時代

6世紀の中頃には横穴式石室という新しい埋葬施設が広まり、6世紀後半になると横穴式石室をもつ小古墳が群れをなすように築かれました。

そうした中で、宿寺山古墳から約100年ぶりとなる大型前方後円墳で、この時期、中国・四国最大のこうもり塚古墳が三須丘陵の一面につくられるのです。

みどりやま

緑山古墳群

総社市上林

江崎古墳から北へ約700m離れた丘陵上にあり、19基の古墳で構成されています。丘陵の頂きには墳丘や横穴式石室の規模の大きな古墳がまとまっており、6世紀中頃から後半にかけて大型化していく横穴式石室を見ることができます（石室の入口は狭くなっていますが、自由に見学することができます）。

副葬品には銀象嵌の飾り大刀などがあり、三須丘陵の古墳群の中でも特に有力な人々が葬られていたようです。



緑山古墳群の構成

4号墳	6号墳
6世紀後半・円墳	6世紀中葉・円墳
径 22m	径 15.6m
高さ 5m	高さ 2.4m
石室長 10.8m	石室長 6.2m

7号墳	8号墳
6世紀後半・円墳	6世紀後半・円墳
径 26m	径 30m
高さ 3.8m	高さ 6m
石室長 11.2m	石室長 15.1m



岡山大学考古学研究室提供
緑山8号墳の石室

吉備路北駐車場の西約 500 m にある墳長 45 m の
前方後円墳で、墳丘の一部に埴輪を飾っています。

後円部の横穴式石室にはやはり浪形石製の
家形石棺が置かれていて、その周辺からは銅鏡を

はじめ金銅製の飾りを付けた武器や馬具、装身具など多彩な副葬品
が出土しています。これらの遺物から江崎古墳は、こうもり塚古墳に
続いて築造された6世紀末の有力首長墓
で、吉備路では最後の前方後円墳と思われる
ます。

現在は石室の入口が施錠されており、
内部を見学できません。

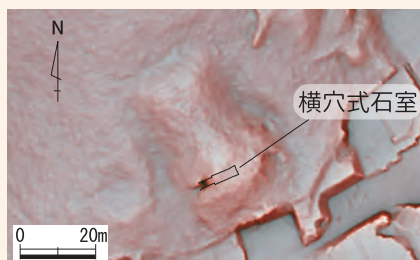
古墳データ

前方後円墳

墳長 45m

高さ 5m

石室長 13.8m



江崎古墳の墳丘

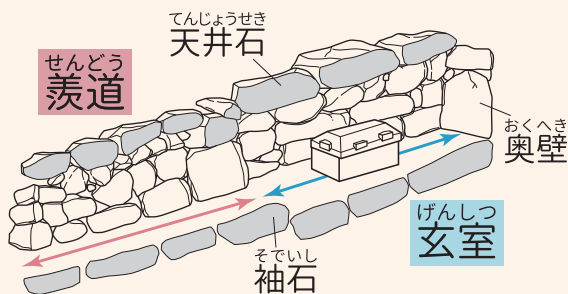


江崎古墳の石室と石棺

トピック② ー横穴式石室とはー

5 世紀に朝鮮半島から
伝わった新しい埋葬施設で
す。棺を納める部屋（**玄室**）
と、出入りするための通路
（**羨道**）からなり、繰り返し
埋葬を行うことができます。

吉備の横穴式石室は、奥
壁に大きな石を据えることが特徴です。



横穴式石室の構造と名称

とびおつか 鳶尾塚古墳

総社市上林

こうもり塚古墳の北約700 mにあります。天井石に長さ5 mの巨大な石材を用います。石室の特徴から、こうもり塚古墳・江崎古墳に続く古墳と考えられます。

鳶尾塚古墳を最後に、吉備路では大きな石室や墳丘をもつ古墳はつくられません。7世紀中頃以降には、古墳に代わって寺院の建立が盛んになっていきます。

古墳データ

円墳	
径	23m
高さ	3.6m
石室長	12.5m



岡山大学考古学研究室提供

鳶尾塚古墳の石室

トピック③ —石の棺は権力のあかし—

石を削り抜いたり組み合わせたりしてつくった重厚な石棺は、首長のための棺として近畿（大阪府二上山^{にじょうさん}）、四国（香川県火山^{ひやま}）、九州（熊本県阿蘇山^{あそざん}）などから運ばれ、有力な古墳に納められました。

しかし、こうもり塚古墳や江崎古墳に置かれていた家形石棺は、近畿の石棺をまねながらも、浪形石^{なみがたいし}という地元の石材でつくられており、吉備の独自性を表していたのかもしれません。

やがて近畿（兵庫県竜山^{たつやま}）から運ばれた石棺が中・小の首長の間に広まるとその価値は薄れ、古墳の消滅とともに石棺は姿を消しました。



造山古墳前方部の石棺



竜山石製の石棺をもつ古墳
（岡山市北区石舟塚古墳）

5 奈良時代以降の歴史遺産

びっちゅうこくぶん じ あと

備中国分寺跡（国指定史跡）

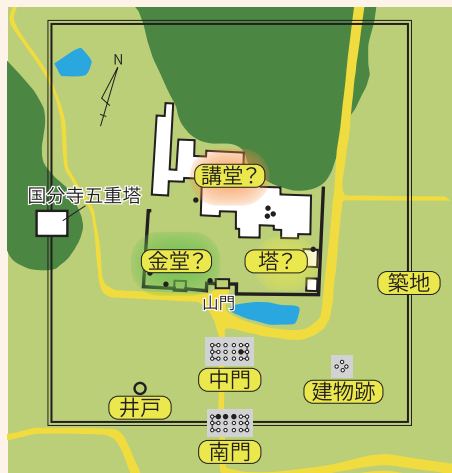
総社市上林



空から見た備中国分寺跡（点線は備中国分寺跡の範囲）

天平 13（741）年に聖武天皇^{しょうむてんのう}の命令によって諸国に建てられた寺院の一つで、築地^{ついき}という土塀^{どべい}で囲まれた寺の範囲は南北約 180 m、東西約 160 m もあります。南辺中央に開く南門^{なんもん}やその北側に建つ中門^{ちゅうもん}は発掘されましたが、金堂^{こんどう}や塔^{とう}、講堂^{こうどう}といった主要な建物は真言宗国分寺^{しんごんしゅう けくだい}の境内^{けいだい}となっているため分かっていません。

備中国分寺は平安時代には衰退し、南北朝時代の兵火にかかって焼失したと伝わります。現在の国分寺は江戸時代中期に再興されたもので、五重塔^{ごじゅうのとう}は国指定、庫裏^{くり}・経蔵^{きょうぞう}・裏書院^{うらしょいん}は県指定の文化財となっています。



奈良時代の建物等 ● 現存する礎石
(建物の柱を受ける石)

備中国分寺跡の建物配置

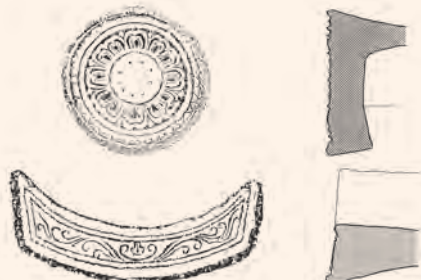
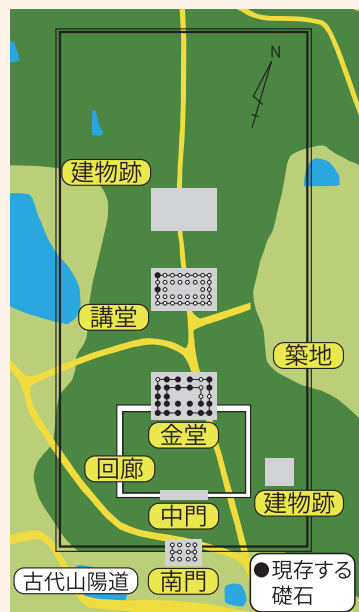


備中国分尼寺跡の金堂跡と礎石



こうもり塚古墳の東約 200 mにある低い丘陵上にあります。土手状の高まりとなつて残る**築地**の跡から、寺の範囲は備中国分寺跡より狭い南北 216 m、東西 108 mと推定されています。主要な建物は、南辺に開く**南門**から北へ並べて建てられていました。とりわけ仏像を**安置**した**金堂**は、柱や壁の台座を刻んだ**礎石**（土台石）がほぼ当時の状態で残っており、かつての様子を今に伝えています。

なお、南門の前で発掘された幅 6 mの古道は、古代山陽道と推定されています。



備中国分尼寺跡から出土した瓦 (S=1/8)

備中国分尼寺跡の建物配置

備中国分寺の建物

総社市上林

県内に残る唯一の五重塔は、高さが34mあります。江戸時代以前に建てられた五重塔の中では最も新しい弘化元(1844)年頃の完成で、当時の技術水準を示すものとして国の重要文化財に指定されています。塔の初層には4体の仏像が安置され、天井には備前長船の住人横山春篤が描いた天女や花鳥の絵がはめ込まれています。また、庫裏や経蔵とともに県の重要文化財に指定されている江戸時代中期の裏書院は、土蔵造りの書院という特殊なつくりで、浅尾藩主が山陽道を通る大名を応接する場として使用されたと伝わります。



備中国分寺五重塔

移築建物（国登録有形文化財）

総社市上林

総社吉備路文化館の前には、県内の古建築が移築保存されています。

旧山手村役場は、明治時代初期に山手村長の居宅として建てられたもので、明治35(1902)年から60年余にわたり村役場として使用されました。

旧松井家住宅は、江戸時代末期に山陽道沿いの茶屋として使われていた木造平屋建、茅葺の住宅です。簡素な間取りや土壁など、一般的な農家建築のあり方を現在に伝えています。



旧山手村役場



旧松井家住宅

ガイドンス施設

そうじゃ き び じ ぶん か かん 総社吉備路文化館

総社市上林 1252

吉備路北駐車場の東約 400 mにある文化施設です。

みつたにくにしろう
洋画家の満谷国四郎やかな書家の
たか き せい かく
高木聖鶴など、総社市ゆかりの芸術家
の作品を展示するとともに、吉備路の
歴史遺産についてパネル解説を行っ
ています。



月曜、年末年始休館：9時から17時
電話番号 0866-93-2219



総社吉備路文化館の外観

そうじゃ し まいぞうぶん か ざいがくしゅう やかた 総社市埋蔵文化財学習の館

みなみみそて
総社市南溝手 265-3

総社市街地の一角にあり、市内の
遺跡から発掘された出土品を保管、
展示しています。

つくりやま はにわ
作山古墳の埴輪やこうもり塚古墳の
かんとう たち ば ぐ とうかん す え き え ざ き
環頭大刀・馬具・陶棺・須恵器、江崎
どうきょう ば ぐ みややま
古墳の銅鏡・馬具などのほか、宮山
とくしゅ きだい
遺跡の特殊器台（レプリカ）、県内最古
の製鉄遺跡（千引カナクロ谷遺跡）や
古代山城（鬼ノ城）のジオラマなどを
見学できます。

かやでらはいじ
また、古代寺院である栢寺廃寺も
近くにあり見学することができます。



埋蔵文化財学習の館の外観



展示室の様子

平日開館（年末年始除く）：9時から16時
電話番号 0866-93-8071



おかやまけん こ だ い き び ぶ ん か ざ い

岡山県古代吉備文化財センター

にしはなじり
岡山市北区西花尻 1325-3

き び つ
吉備津神社の裏山にあります。県内の遺跡から発掘した出土品を保管するとともに、その中から選りすぐった約 150 点を展示しています。展示室では神明遺跡の銅鐸（県指定重要文化財）をはじめ、上東遺跡の桃の種（日本遺産）、西江遺跡の特殊器台、土井遺跡の人物埴輪、鬼ノ城の出土品・版築土層の転写標本などを見ることができます。また、吉備津彦の墓と伝わる中山茶臼山古墳や、特殊器台を伴う矢藤治山遺跡などにも近く、見学に便利です。



古代吉備文化財センターの外観



全日開館（年末年始除く）：9時から17時
電話番号 086-293-3211



つくりやま

造山古墳ビジターセンター

岡山市北区新庄下 789

造山古墳の駐車場に設けられたガイダンス施設で見学の拠点となっています。造山古墳をはじめとする日本遺産の紹介や観光案内を行っています。

月曜、年末年始休館：10時から15時
電話番号 086-803-1332（岡山市観光振興課）



造山古墳ビジターセンターの外観



吉備路
ウォーキング・マップ

～歩いて体験する 古代吉備の歴史～



・岡山県「ももっち・うらっち」

吉備路へのアクセス



所要時間の目安（徒歩の場合）

1.5km(約25分)

作山古墳

▼ 0.8km(約12分)

角力取山古墳

備中国分寺跡

▼ 0.5km(約8分)

こうもり塚古墳

▼ 0.4km(約6分)

備中國分尼寺跡

▼ 1.0km(約15分)

宿寺山古墳

1.8km(約30分)

造山古墳



 コンビニエンスストア
 駐車場  公衆トイレ
 案内所





総社市
埋蔵文化財学習の館



- 吉備路自転車道
- 歩道
- 車道

野外活動に適した服装・靴を身につけましょう。
みだりに私有地に入らないようにしましょう。
地域住民の人にあいさつを忘れないようにしましょう。
ハチやヘビ、ウルシなどの有害な動植物に気をつけましょう。





[発行] 岡山県古代吉備文化財センター

[所在地] 〒701-0136 岡山市北区西花尻1325-3
TEL:086-293-3211 FAX:086-293-0142

古代吉備
文化財センター
HPはこちら



古代吉備文化財センター 